

クラス番号	910	担当教員名	山口 みほ
テーマ	保健・医療と社会福祉の関わりを考える		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等：			
このゼミは、医療福祉コースの「基礎演習の狙い」にある通り、（１）当事者理解、（２）他職種理解（３）福祉と保健・医療の関連についての考察 を深めることを目標に実施します。 また、自ら問いを立ててそれについて調べる力、他者と協働する力、情報を分析・整理する力、自分の考えを他者に伝える力など、医療福祉の現場だけでなく、社会の様々な場面で活動するための基礎的な力を身につけられるように進めていきたいと考えています。 傷病がもたらす生活問題とは、具体的にどのような形で現れるのか。問題の予防や解決には、どのような取り組みが必要なのか。まずは、直接「現場」に関わって、その現状の一端を知るところから理解を深めて行きたいと思います。			
授業計画：			
ゼミ運営の詳細はゼミ生同士で話し合いながら進めてもらいます。 以下はおおよその流れです。			
＜前期＞			
（１）当事者（患者・家族等）理解につながる資料を読む （２）患者会・家族会等の当事者組織を訪問する （３）上記（１）、（２）をもとに、レポートを作成する （４）前期に取り組んだ成果を、合同報告会（コース全体企画）で発表する			
＜後期＞			
（１）医療福祉領域で働く様々な対人援助の専門職について調べる。 （２）多職種によるシンポジウム（コース全体企画）等を通して、職種間連携について学ぶ （３）小グループ毎に課題を設定し、フィールドワークを実施する （４）（３）について、レポートを作成する （５）合同報告会で成果を発表する			
担当教員からのメッセージ			
「医療福祉」は「病」という体験から人としての生き方を深く考えることになる興味深い領域です。 すでに様々な機会に自己紹介はしていますが、私は総合病院や精神科診療所でソーシャルワーカーとして働いてきました。現在も、現役ワーカーとして回復をめざす薬物依存症を持つ人やそのご家族の方々とともに活動しています。 しかし、「医療福祉」をソーシャルワーカーの活動に限定して狭くとらえるのではなく、私自身も社会を見渡す広い視野を皆さんと一緒に育てて行きたいと思っています。			